

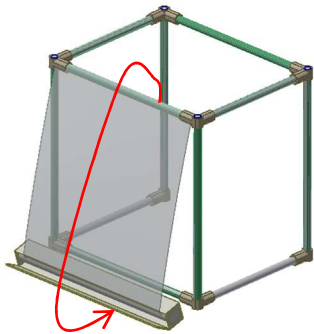
ラップ式挿管BOX

本品は気管挿管や内視鏡検査時に、患者からの飛沫を遮断するための囲いです。

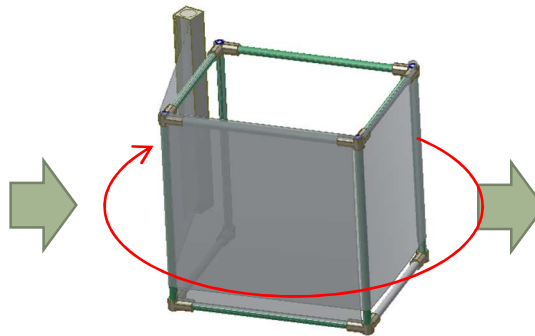
フレームのみからなり、使用の都度、ラップを巻いて使用します。

台湾のDr. Hsien Yung Laiが考案し公開しているAerosol Boxを改良したものです。透明プラスチック製に比べ、都度セッティングの手間がかかる一方、手を挿入する穴の位置を自由に決められる、手を挿入する穴と腕の間のスキマが少ない、透明度の経時劣化を気にしなくてよい、などの利点があります。

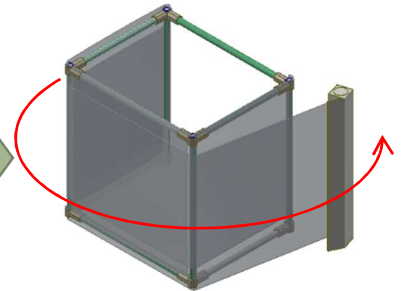
使用方法



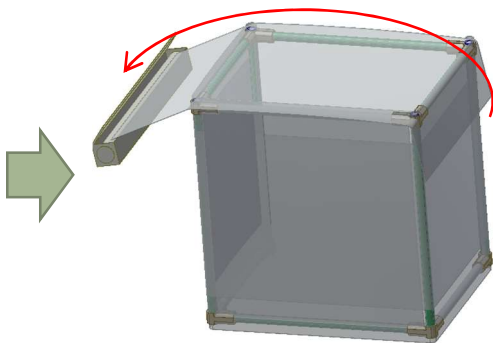
1. 前面にタテにラップを1枚張ります



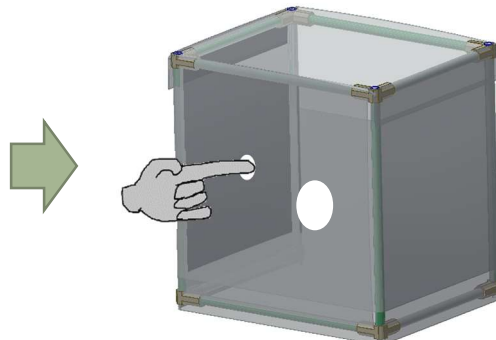
2. 側面3面をまたいで上に寄せて1枚張ります



3. 同じく下に寄せて1枚張ります



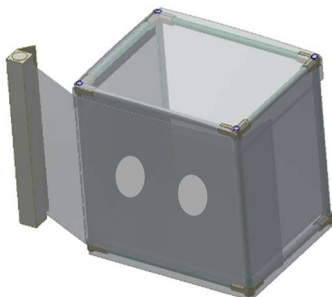
4. 上面に1枚張ります
この面は丁寧にしわを伸ばしてピンと張ります。



5. 指で刺して穴を2か所開け、こじ開けながら腕を入れます

準備完了

穴の位置が気に入らない時



ラップを1枚張ってやり直します

終了後



ラップをはがして捨て、フレームを消毒します。

※注釈

・手順1の理由は、縦横にラップを重ねることにより穴あけ時の引き裂けを防止するためです。

・手順2, 3で上下に分けて貼るのは、ラップの幅(45cm)がフレーム高さ(50cm)に足りないからです。

・60cm幅のラップも市販されていますが、長すぎて使いにくく、非推奨です。

